

## 第 50 回電子情報化委員会 議事録

日時：2012 年 3 月 16 日（金）17:30～19:30

場所：JCI 12F 第 3 会議室

出席者：中村委員長、三木幹事、栴山、田嶋、田所、八十島、吉岡の各委員  
（事務局）井上、戸口

資料

50-0：電子情報化委員会（第 50 回）議事次第

50-1：第 49 回電子情報化委員会議事録（案）

50-2：メールニュース登録者数の推移

50-3：第 2 回 JCI HP WG 議事録（案）

50-4：シンポジウム等の動画配信技術について

50-5：会員専用ページ関連について

議事

1. 前回委員会議事録（案）の確認（三木幹事、資料 50-1）

- ・ 第 49 回議事録（案）の内容を確認し、原案を承認した。

2. メールニュース登録者について（事務局、資料 50-2）

- ・ 現状の登録者数 5470 名（2012 年 3 月現在、会員 1776 名、非会員 3694 名）。前回委員会（12 月）より約 70 名増。講習会が終わり、あまり登録者数は増えていない。
- ・ 事務局より、正会員の会員情報を調査するため、全会員へ確認書類を送付する予定であることが報告された。その際にメールアドレスを記入してもらう。メールニュース、会員専用ページなどが利用できることを提示することで、メールアドレス登録を促す予定である。

3. HP について（三木幹事、資料 50-3）

三木 HP WG 主査より、HP WG において議論した内容が説明された。

- ・ 今年の 7 月を目処に HP のリニューアルを考えている。既存コンテンツ、または活用できるコンテンツを用いて、見やすく使いやすいホームページとするよう、日本語版、英語版ともに修正する。トップページデザイン、写真などは差し替える。ページレイアウトやデザインを大幅に修正する大改訂は、JCI 50 周年記念事業（2015 年）の際に行う予定である。
- ・ 四季の散歩道のようなコンテンツの編集作業、もしくはデジタルツールを活用した独自性のある活動には、人員が必要である。  
→ 作業メンバーには、作業内容を確認する組織となる電子情報委員会へ加わってもらうのがよい。
- ・ 定期的な更新を要するコンテンツ一覧をまとめておく。これにより、電子情報化委員会にて進捗を効率的に確認でき、かつ事務局の作業軽減、支援が可能となる。
- ・ 今回のリニューアルにおいて専門家向けページ（吉岡委員担当）の追加箇所も想定しておく。
- ・ 小中学生向けのコンテンツについて、コンクリート楽器（JCI 年次大阪大会）、小学生のコンクリート（JCI 年次さいたま大会）のような取り組みが活用できるのではとの意見があった。
- ・ 四季の散歩道について、年次大会実行委員会、各支部においてコンクリート構造物の写真を

収集してもらうよう依頼するものよいのではとの意見があった。

- ・ IT を活用した事例として、土木学会のウェブラーニングシステムがある。
- ・ コンクリート技術に関する記述は正しい内容であることを承認する必要がある。内容を確認したもののみを掲載するよう、コンテンツの拡充の際には注意を要する。

#### 4. 動画配信技術に関する調査（田嶋委員、資料 50-4）

田嶋委員が調査した内容が説明された。

- ・ スライド PDF、音声付スライドショーの配信から、撮影動画の配信や生中継まで、様々なレベルの配信方法がある。
- ・ 会員ページにおけるコンテンツとして、委員会シンポジウムなどの配信は有力である。
- ・ 委員会の講習会はほぼ有料であり、参加者を確保する必要もある。開催後時間を経た後の配信や会員専用ページにおける配信など、無料配信とする場合は差別化する必要がある。
- ・ コンクリート工学に関連する、様々な IT を活用したコンテンツをまとめておくサイトを設けるのもよいのでは。例えば、講習会、委員会の様子のウェブ配信のほか、多学会の関連情報をまとめておく。一般向け、会員専用など、配信先に応じて掲載場所を工夫する。

#### 5. 会員専用ページ関連（八十島委員、資料 50-5）

八十島委員から資料説明があった。

- ・ 会員専用ページの利用者数が示された。3月16日現在 1273 名。
- ・ 団体会員の対応について、実施可能な方法が示された。団体会員用のパスワードの発行手続きのための登録ページの URL を送付する。送付の方法、時期について、事務局で具体的な手順を検討し、八十島委員へ回答することとなった。
- ・ メールニュースについて、登録条件別に配送することが可能である（例えば、会員向け、非会員向け、それぞれに送付可能）。この方法を活かした配信コンテンツを検討する必要がある。（担当：高橋委員）

#### 6. その他

- ・ JCI 査読システムについて、株式会社アトラスから提出された見積書が事務局より報告された。査読から DVD 作成までを含む見積であり、年間 200 万円～250 万円の削減が可能である。ただし、査読意見ボックス数の制限や外部査読者の選定作業における対応について、現在使用しているシステムと異なる点がある。また、アップロード時の回線のバックアップ体制にも違いがある。次回委員会にて、技術的な点も含めて株式会社アトラスより各項目の説明をしてもらうことになった。
- ・ 中村委員長より、本委員会幹事について、三木幹事から八十島委員へ交代することが報告された。また、副委員長についても現在選定中であることが報告された。
- ・ 年次大会論文集を CiNii で公開する本心が再度確認され、その手順について提案してもらうことにした。（担当：田所委員）

#### 7. 次回日程

- ・ 次回は 2012 年 6 月 29 日（金）15：00 から、JCI 会議室にて実施する。
- ・ JCI 査読システムについて、株式会社アトラスから説明を受ける。
- ・ 次回は委員会の一部を動画配信することを試みることにした。（担当：田嶋委員）

以上